

その支援は**本当に「被災者のため」**になっているといえますか？

災害時の支援活動で最低限 知っておくべきこと

(被災者支援の「国際基準」を学ぶ研修会)

災害時、不自由な生活を長期にわたり余儀なくされる被災者に必要な支援のあり方とは何か？CHS（人道支援の必須基準）を通じて、被災者一人ひとりに向き合った支援に必要なことを学び、災害支援の質を高める実践活動に活かします。

2/3

Saturday

13:20~16:30(開場 13:00)

人道支援の必須基準
Core Humanitarian Standard

人道支援の質と
説明責任に関する
必須基準



講師

勝井 裕美 氏 (シャプラニール=市民による海外協力の会)

木村 万里子 氏 (シャンティ国際ボランティア会)

※ JQAN QA トレーナー研修 修了者

会場

武蔵野スイングホール 11階 レインボーサロン

参加費

無料 定員 80名

対象

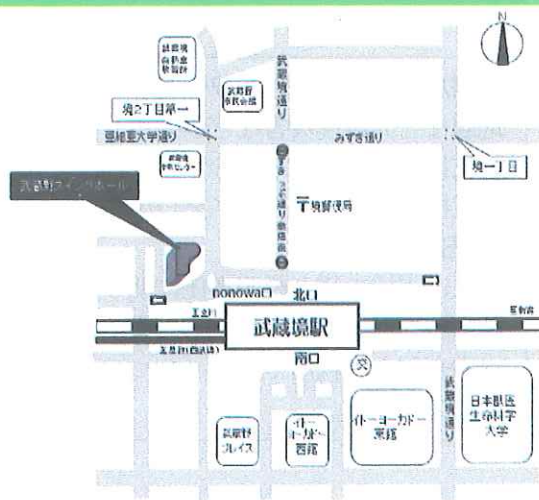
社会福祉協議会職員及び地域で
災害支援にあたる関係者

申込み

裏面、参加申込票でお申込下さい。

1月18日(木) 締切

※ 研修会終了後、17:30頃より
会場近くで懇親会を予定しています。
(参加費別途)



武蔵野市境2-14-1(日刊林社が入ったビル)
JR中央線武蔵境駅下車北口徒歩2分

主催：北多摩北部ブロック社会福祉協議会ボランティア担当者連絡会

(構成：武蔵野市・東久留米市・小平市・清瀬市・西東京市・東村山市)

共催：東京ボランティア市民活動センター・国際協力NGOセンター (JANIC)

参加申込みの方は、この用紙をFAXでお送りください。(Fax番号:042-476-4545)

東久留米市社会福祉協議会 ボランティアセンター

締め切り 平成30年1月18日(木)まで

2/3 (土) 被災者支援の「国際基準」を学ぶ研修会

～ 災害時の支援活動で最低限知っておくべきこと ～

参加申込票

| | |
|--------|--|
| 団体名 | |
| 代表者名 | |
| 電話・FAX | |

| 氏名 | 住所 | 電話・FAX | 懇親会 (出席は○) |
|----|----|--------|---------------|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

災害ボランティアセンターとは

地震など大規模災害などが発生した際、被災した人や地域を支援するため、市との協定に基づき社協が設置し被災者と支援するボランティアをつなぐ役割を果たします。

CHSとは

「人道支援の質と説明責任に関する必須基準」の事で、提供する支援の質や効率を改善するため、人道支援に関わる組織や個人が利用できる「9つのコミットメント」が提唱されています。

(問い合わせ) 東久留米市社会福祉協議会ボランティアセンター
東久留米市滝山4-3-14 わくわく健康プラザ2階
電話 042-475-0739 FAX 042-476-4545
メール volunteer@higashikurume-shakyo.or.jp